

80周年 きくまつり



11月9日(金)

本校の伝統行事「きくまつり」。この日は、午後から天候がすぐれないことから時間を早めて菊の子汁作りのみ行いました。この日をめざして、生活団(学年縦割りグループ)で野菜を育てます。「みんな、野菜いっぱい菊の子汁になるように、畑の水やりをがんばろうね!」と、6年生が声をかけます。菊の子汁とは、一般的な豚汁ではありますが、きくまつりに作るその鍋のことを「菊の子汁」と呼んでいるのです。中に入れる野菜はもちろん学校で採れた作物のみ。そうです。菊の子にとっては特別な思いのこもった一つの鍋なのです。野菜を切る係は〇〇さん、火をおこす係は□□君、と分担して、生活団ごとにおいしい鍋を作ります。味は、生活団ごとに随分違うようですが、皆声を揃えて「うちの団が一番おいしいよ!」とっていました。

後日行われた菊の鑑賞では、育ててきた一人一鉢の菊を観賞しました。小学生が作るのですから、なかなかうまくいけません。中には途中で枯れてしまう菊もあります。大切なのは、どんな気持ちで育ててきたのか、ということです。その思いをみんなの前で一人ずつ話し、それを聞くのも観賞会で大切にしています。学年ごとに、思いがあって、それをふりかえることは、自分の成長についても見つめられるはずです。